

令和 6 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅰ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和6年度 幼稚園教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で特に受験番号の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

問 1 次の文章は、ある人物の業績について述べたものである。その人物として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

アメリカの哲学者、教育思想家で、主著に『学校と社会』(1899年)や『民主主義と教育』(1916年)がある。子供を学習の主体ととらえ、主体と環境の相互作用を経験と呼び、経験の再構成の連続的過程を教育の本質とした。また、フレーベル(Fröbel, F.W.A.)による象徴主義や恩物を批判しつつも、自発的な活動である遊びを評価し、遊びと仕事の行われる環境を整備することを幼稚園の任務とした。

- ア ヒル(Hill, P.S.)
- イ ホール(Hall, G.S.)
- ウ ブルーナー(Bruner, J.S.)
- エ デューイ(Dewey, J.)

問 2 次の文章は、ある教育方法について述べたものである。その方法として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

子供の自発的で、目的ある活動を軸に学習を組織する方法である。その過程は、①目的を立てる、②計画を立てる、③実行する、④結果を検討するという4段階に定式化される。「目的ある活動」に伴う「付随学習」の意義を強調したことも注目される。日本では、大正期の新教育運動において、また第二次世界大戦後にも一部試みられた。

- ア モンテッソーリ・メソッド
- イ プロジェクト・メソッド
- ウ オープン・エデュケーション
- エ イエナ・プラン

問 3 次の①～⑤の文章は、ある人物の業績について述べたものである。その人物の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1922(大正 11)年、大阪市の郊外に「家なき幼稚園」を開設し、大自然の中で子供たちを自由に遊ばせる露天保育を行った。
- ② 明石女子師範学校附属小学校主事として、保育・教育方法改革を実施した。「為さしむる主義」による動的教育法を主張、主著に『分団式動的教育法』がある。
- ③ 幼児にふさわしい遊戯の創作に取り組み、リズムカルな歌曲に動作を振り付けた「律動遊戯」を考案した。1923(大正 12)年には、遊戯教育普及を目指し、品川に瑞穂幼稚園を設立した。
- ④ 1904(明治 37)年、神戸市婦人奉仕会嘱託に就任し、「出征軍人児童保管所」の設置に尽力した。その後、内務省地方局嘱託となり、主著『社会事業綱要』では、児童保護は「児童の権利」に基づくものであるとの立場から、国の保育所設置義務と教育的側面の重要性を主張した。
- ⑤ 女子高等師範学校教授兼同附属幼稚園主事として、1890年代から幼稚園教育界の指導的立場にあり、幼稚園教育の改良に努めた。1892(明治 25)年には附属幼稚園に分室を設けて、簡易幼稚園の普及を期した。主著に『幼稚園摘葉』がある。

	①	②	③	④	⑤
ア	及川平治	橋詰良一	中村五六	生江孝之	土川五郎
イ	土川五郎	生江孝之	橋詰良一	中村五六	及川平治
ウ	橋詰良一	及川平治	土川五郎	生江孝之	中村五六
エ	中村五六	及川平治	生江孝之	土川五郎	橋詰良一

問 4 社会情動的スキルや非認知能力と呼ばれる能力や特性として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 意欲
- イ 自制心
- ウ ワーキングメモリー
- エ レジリエンス

問 5 ブロンフェンブレンナー(Bronfenbrenner, U.)の生態学的システム理論における個人にとっての環境として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア マイクロシステム
- イ メゾシステム
- ウ ミドルシステム
- エ エクソシステム

問 6 乳幼児が, アタッチメント(愛着)対象を探索の拠点として利用することを表す語句として最も適切なものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 分離不安
- イ 内的作業モデル
- ウ 安全基地行動
- エ 人見知り

問 7 次の文章は, ヴィゴツキー(Vygotsky, L.S.)の代表的な理論についての説明である。文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ヴィゴツキーは, 子供が一人で問題解決できる水準と, 他者からの協同や援助によって達成できる水準とのずれの範囲を ① と名付けている。

幼児は遊んでいるときなどに, 自己中心的言葉と呼ばれる独り言を言うことがある。これは, 他者とのコミュニケーションのための機能である ② から, 思考の機能をもつ ③ への過渡期の言葉の形式である。

- | | ① | ② | ③ |
|---|----------|----|----|
| ア | 足場かけ | 外言 | 内言 |
| イ | 足場かけ | 内言 | 外言 |
| ウ | 発達の最近接領域 | 外言 | 内言 |
| エ | 発達の最近接領域 | 内言 | 外言 |

問 8 発達や学習に関する理論や概念とそれに関連が深い人物の組合せとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 道徳性の発達 ————— コールバーグ(Kohlberg, L.)
- イ プログラム学習 ————— スキナー(Skinner, B.F.)
- ウ 言語習得装置 ————— チョムスキー(Chomsky, N.)
- エ 心理・社会的発達 ————— ピアジェ(Piaget, J.)

問 9 次の文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

自分や他者の行動を予測したり説明したりするために使われる心の働きについての知識や原理は、 ① と呼ばれ、 ① を測定するためにマクシ課題やスマーティ課題といった ② 課題が用いられている。 ③ 児は、 ② 課題が苦手であることが明らかになっている。

- | | ① | ② | ③ |
|---|------|------|------|
| ア | 心の理論 | 誤信念 | 自閉症 |
| イ | 心の理論 | 他者理解 | ADHD |
| ウ | 心の知識 | 誤信念 | ADHD |
| エ | 心の知識 | 他者理解 | 自閉症 |

問10 次の文は、「日本国憲法」(昭和 21 年憲法)の条文である。文中の空欄 ① ~ ⑤ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 13 条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、 ① 及び幸福追求に対する国民の権利については、 ② に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第 26 条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その ③ に応じて、 ④ 教育を受ける権利を有する。

2 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に ⑤ 教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

	①	②	③	④	⑤
ア	自由	法令	成長	十分な	一般
イ	財産	公共の福祉	資質	ひとしく	一般
ウ	自由	公共の福祉	能力	ひとしく	普通
エ	財産	法令	発達	必要な	普通

問11 「教育基本法」(平成 18 年法律第 120 号)の条文として適切でないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。
- イ 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。
- ウ 法律に定める学校の教職員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と研修に励み、その任務の遂行に努めなければならない。
- エ 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

問12 次の文は、「学校教育法」(昭和22年法律第26号)及び「学校教育法施行規則」(昭和22年文部省令第11号)の条文(一部)である。文中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア~エの中から一つ選んで答えなさい。なお、設問の都合で文中の法律番号を省いたところがある。

「学校教育法」

第24条 幼稚園においては、第二十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、 ① に関する各般の問題につき、保護者及び地域住民その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなど、家庭及び地域における ① の支援に努めるものとする。

第25条 幼稚園の教育課程その他の ② に関する事項は、第二十二条及び第二十三条の規定に従い、文部科学大臣が定める。

「学校教育法施行規則」

第36条 幼稚園の設備、編制その他設置に関する事項は、この章に定めるもののほか、 ③ の定めるところによる。

第37条 幼稚園の毎学年の教育週数は、特別の事情のある場合を除き、 ④ を下つてはならない。

	①	②	③	④
ア	幼児期の教育	保育内容	幼稚園設置基準	三十九週
イ	幼児教育	教育内容	学校等設置基準	三十九週
ウ	幼児教育	保育内容	学校等設置基準	四十九週
エ	幼児期の教育	教育内容	幼稚園設置基準	四十九週

問13 次の文は、「こども基本法」(令和4年法律第77号)の条文である。文中の空欄 ① ～ ⑥ に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第3条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、 ① 取扱いを受けることがないようにすること。

二 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法(平成十八年法律第二十号)の精神にのっとり教育を受ける ② が等しく与えられること。

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して ③ を表明する ② 及び多様な社会的活動に参画する ② が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その ③ が尊重され、その ④ が優先して考慮されること。

五 こどもの養育については、家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、これらの者に対してこどもの養育に関し十分な支援を行うとともに、家庭での養育が困難なこどもにはできる限り家庭と同様の ⑤ を確保することにより、こどもが心身ともに健やかに育成されるようにすること。

六 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる ⑥ を整備すること。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	不公平な	権利	意思	最良の利益	生活環境	生育環境
イ	差別的	機会	意見	最善の利益	養育環境	社会環境
ウ	不平等な	機会	意思	最善の利得	養育環境	成育環境
エ	差別的	権利	意見	最善の利益	生活環境	扶育環境

問14 「特別支援教育の推進について」(平成19年4月1日付け19文科初第125号文部科学省初等中等教育局長通知)の内容の一部として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。
- イ 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っている。
- ウ 特別支援教育の推進のためには、教員の特別支援教育に関する専門性の向上が不可欠である。したがって、各学校は、校内での研修を実施したり、教員を校外での研修に参加させたりすることにより専門性の向上に努めること。
- エ 障害のある幼児児童生徒への支援に当たっては、障害種別の判断も重要であるが、当該幼児児童生徒が示す困難に、より重点を置いた対応を心がけること。また、医師等による障害の診断がなされている場合、教師はその障害の特徴等に沿って固定的に捉え、その幼児児童生徒のニーズに合わせた指導や支援を検討すること。

問15 我が国における教育・保育の状況について述べたものとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼児教育センターを既に設置している都道府県は6割以下である。
- イ 幼稚園教員の離職理由として最も多いものは、病気(精神疾患を含む。)のためである。
- ウ 幼稚園教諭及び保育教諭の資質の向上に関する指標を作成している都道府県は約4割である。
- エ 幼稚園教員が保有している当該学校の普通免許状は、一種免許状が約3割、二種免許状が約7割である。

出典：『令和3年度幼児教育実態調査』(令和4年文部科学省)

『令和元年度学校教員統計調査』(令和3年文部科学省)